

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第66号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年2月7日 15時00分ごろ	
発生場所	熊本県天草市牛深港 牛深港台場沖防波堤灯台から真方位012°250m付近 (概位 北緯32°11.7′ 東経130°01.9′)	
事故等調査の経過	平成21年5月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 押船 第三十六<sup>ひ</sup>日<sup>て</sup>の出丸、19トン 293-36084熊本、有限会社岩崎海事</p> <p>B 台船 第八<sup>ひ</sup>日<sup>て</sup>の出丸、57m なし、有限会社岩崎海事</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、一級小型船舶操縦士</p> <p>B なし</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 舵板に凹損、舵頭材変形</p> <p>B なし</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船首約1.4m、船尾約3.0mの喫水で、消波ブロックを積載したB船を押航して牛深港台場地区の高潮対策用消波ブロック設置工事現場に向かい、B船のスパットを入れて船体を固定し、A船の機関を停止したうえで、B船のクレーンにより消波ブロックの設置作業を行った。</p> <p>A船及びB船は、作業を終えて出港しようとしたところ、付近を航行中の漁船の航走波を左舷側から受けて船体が上下に動揺したとき、平成21年2月7日15時00分ごろ、A船船尾が設置済みの消波ブロックに乗り揚げた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西、風力 2</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、船尾喫水と水深との関係に対する配慮を適切に行わなかった可能性があると考えられる。 船長Aは、既設の消波ブロックまでの水深が3.0m程度しかないことを承知していたが、A船は後方にあるので乗り揚げることはないと判断し、クレーンのブーム長さや消波ブロック設置位置の関係から、水深ぎりぎりのところまで船体を寄せて作業を行った可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、A船がB船を押して牛深港において出港作業中、船尾喫水と	

	<p>水深の関係に対する配慮を適切に行わなかったため、漁船の航走波を受けて船体が上下動し、A船が既設の消波ブロックに乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
--	---